

# ！ 私の避難情報マップを作成しよう！

準備したハザードマップをもとに、次の手順にしたがって、「私の避難情報マップ」を作成しよう！

その① 自宅が安全かどうか確認しましょう。

- 自宅を「○」で囲みましょう。
- 地図の着色を見て、洪水や土砂災害がどの程度危険か確認しましょう。

その② 自分や家族を守るのに必要となる「安全な場所」を決めましょう。

- 自宅で安全が確保できない場合、地図に着色がなく、水害や土砂災害の危険がない、もしくは危険が少ない施設を選び「◎」を記入しましょう。
- 市町村が指定する避難場所以外を選んだ方は、その場所に避難できるかどうかを、災害時ではなく平常時に必ず確認しておきましょう。  
例：収容人数、開場のタイミングなど

その③ 一緒に避難する方の自宅を確認しましょう。

- 声を掛ける方や友人、知人、高齢者、体の不自由な方など、一緒に避難する必要がある方の自宅等に「△」を記入しましょう。

その④ 安全な避難経路を確認しましょう。

- 自宅「○」から一緒に避難する必要がある方の自宅等「△」を経由して、避難場所の「◎」まで行く道順を「→」で記入しましょう。

- 家族で話し合いながら決めて、災害に備えましょう。
- 声掛けや一時集合場所など、地域で避難の決まりがある場合は反映してください。また、決めたことを地域で確認しあい、見直しましょう。
- 自宅はもちろん、避難経路でも災害が発生した場合は、身動きが取れなくなります。そうなる前に、早めに避難しましょう。



自宅や避難経路などで色が着いた場所が、災害発生時にどんな状況になるのかを見てみましょう。

次のページへ